

【結果概要】 準天頂衛星利活用サブワーキンググループ

- 準天頂衛星システムサービス株式会社より、資料1に沿って、準天頂衛星システムの概要と利活用について説明。準天頂衛星システムが提供するサービスや、現在の準天頂衛星対応受信機の開発・販売状況、政府・企業等による様々な利活用事例について紹介があった。
- 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局より、資料2に沿って、準天頂衛星システムに関する内閣府の取組状況について説明。実証実験の公募や、みちびきを利用した車両とドローンの複合物流実証、7機体制に向けた開発状況等の紹介があった。質疑では、7機体制に向けた一層の普及支援策の拡充や、国際連携についての期待が述べられた。
- 経済産業省より、資料3に沿って、準天頂衛星システムを活用した経済産業省の取組みについて説明。豪州における準天頂衛星システムを活用した自動運転車や、無人航空機による物流の実証について紹介があった。
- 株式会社日立ソリューションズより、資料4に沿って、総務省からの受託事業の概要等について説明。みちびきを活用した豪州におけるスマート農業実証により得られた成果と課題、今年度実施する効率的な営林システム検証等について紹介があった。
- マゼランシステムズジャパン株式会社より、資料5に沿って、MADOCA Application Update For SEA Region について説明。自社開発受信器の開発ロードマップや、国内外における政府・自治体、企業、大学等と連携した実証について紹介があった。
- 株式会社コアより、資料6に沿って、IoT×GNSS “Chronosphere” について説明。自社開発受信器の概要や、新たに開発したクラウド型受信器の特長と評価結果、自社製品の利活用事例について紹介があった。
- 株式会社フォルテより、資料7に沿って、FORTE IoT Solution について説明。自社開発の端末や、配達ビジネスやスポーツ、観光分野への自社ソリューションの実装実験の取組み等について紹介があった。
- 一般財団法人衛星測位利用推進センターより、資料8に沿って、QBIC アウトリーチ活動とそれを支える新技術について説明。みちびきサービス開始後の実利用加速・浸透拡大に向けた QBIC の活動のポイントや、安価で簡単にユーザが利用可能な CLAS/RTK データ変換技術について紹介があった。

○全体討議

出席委員より、準天頂衛星の活用や対応受信機について質疑や意見交換がなされた。例えば、防爆仕様の受信機に関して質問があり、プレゼンターより、仕様を提示していただければ個別調整可能であるとの回答があった。また、準天頂衛星の活用事例に関して、スマートフォンではなく専用受信端末を用いる理由や、今後の普及に向けたアイデアについて質問があり、プレゼンターより、バッテリーやサービス提供者側の管理コストの課題があるため専用受信端末を用いており、測位精度の違いもあるが、GPS と同等の価格になることが普及に向けて重要だとの回答があった。